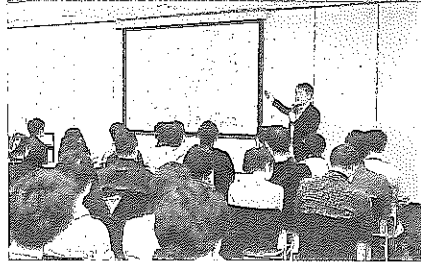


地方起業 NPOが支援

8自治体と連携 東北など

起業家支援のNPO法人、エティック(東京・渋谷)は地方で起業する人を支援するプロジェクトを始め、地方で事業を興した起業家や、地方発の起業家育成に積極的な自治体と連携、起業のための事業計画作成や取引先開拓などを指導したり、課題を相談したりできる場を提供する。都市部から地方に活動拠点を移したい人を後押しし、地方創生にも貢献する。



ローカルベンチャー推進協議会が開いた起業支援イベント(2月、東京都内)

エティック 事業計画作成を指導

ローカルベンチャー推進協議会の 参加自治体も協力する	
【ローカルベンチャーラボの概要】	
<分野>	<内容>
観光・交流産業	地域資源を生かし、住民と来訪者の交流を促す
不動産活用・エリアブランディング	空き店舗や古民家など埋もれた不動産を街づくりに生かす
環境配慮型・循環型ビジネス	環境に負荷を与えず、持続可能な地域発ビジネスを探る
地域商社	地域の特徴を生かした商品づくりや販路開拓を目指す
自然資本産業	自然を生かした農林水産業の新たな可能性を追求する
安心・豊かな暮らし創造	過疎・高齢化地域を中心に福祉、生活支援ビジネスを考える

↑ 協力

【協議会設立の8市町村】

北海道下川町、北海道厚真町、岩手県釜石市、宮城県気仙沼市、宮城県石巻市、岡山県西粟倉村、徳島県上勝町、宮崎県日南市

新たなプロジェクト「ローカルベンチャーラボ」は地方での起業希望者が分野ごとに少人数で学ぶ形式を想定。観光・交流産業や地場産品を売り出す地域商社などを6分野で各10人程度の参加者を募集する。月内に参加費は18万円だが、旅費などとして最大5万円を活動支援金を支給する。このほか、学生や若手、チームでの参加には

割引も設けた。参加者は年末まで月1回のペースで集まり、先輩起業家から助言を受けたり、参加者が相互に課題を指摘し合った。エティックは、起業の準備を進めるプロジェクトに協力する自治体に出向き、構想中の事業の試行などもできるようにする。

の横石知二社長、地域おこし会社の四万十ドラマ(高知県四万十町)の畦地履正社長、森林資源を活用した地域づくりに取り組むエーゼロ(岡山県西粟倉村)の牧大介社長らが参加する。

エティックは地方発の起業家育成を自指して岩手県釜石市や上勝町、西栗倉村など8市町村が設立した「ローカルベンチャー推進協議会」の運営にも携わってきた。今は社会が抱える課題の解決にも取り組む社会起業家の

の育成を手助け、東日本の大震災の被災地と都市部の人材を結び付ける事業などに力を入れている。国や自治体と連携を合わせ、都市から地方への人の流れを加速させる考えだ。